管八	同	八郡		同	同	同	同	九郡
			海西 國元	同 カイサイ	同	同	同 カイサイ	同

海部郡　海東郡　海西郡

〔佳境遊覽一〕郡名○中略

風土記云、尾張に上郡と云名あるは、古來葉栗、丹羽、山田、春日井之四郡を上之四郡と云、中島、海部、愛知、知多之四郡を下四郡と云、上四郡は織田伊勢守領之、丹羽郡岩倉に在城し、下四郡は、武衛家幷織田大和守領して、清須に居城せり、此時より上郡の名起れり、丹羽郡は本城岩倉に在城なれば、至于今丹羽郡を別て上之郡と云、於郷て爲其郡名所、俗是を云親里、按るに親里大小あり、今是を稱頭郷、　風土記云、古しへは諸國に庄司と云職あり、尾張の國に九十餘庄を置、九十餘人の庄司在しとなり、今國中に庄と稱するの地九十三箇所あり、

〔東大寺要錄六〕一諸國諸庄田地長德四年注文定○中略

尾張國　海部郡十町　中島郡二百九十六町三段　春日部郡五十町　愛智郡七十町　葉栗郡卅六町七段　山田郡卅六町　丹羽郡百八十町八段

〔尾張志〕古今のかはり

むかしは海部郡といひて、尾張のうち西南の隅にて、海にそひたる大郡なりしを、六七百年さきつかた、右大將頼朝卿治世の頃にや、二郡にわかちて、東を海東とし、西を海西と名づけたり、此故に續日本紀の神護景雲元年五月戊辰の記、同三年七月甲辰の記、日本後紀及類聚國史の延暦十八年五月己巳の記、天長九年己亥の記、三代實錄の貞觀六年八月八日壬戌の條、元慶元年十二月